

＜長期ビジョンの期間＞ **2040**年頃を展望
（実行プランは5年間（2020～2024）の計画）

＜福井県の良さと課題＞

- ・自然や食が豊か
⇒ 県民が当たり前と感じその価値に気づいていない、発信力が弱い
- ・家族や地域のつながりが維持
⇒ 過疎化の懸念、つながりの強さが生きづらさや外からの入りにくさにも
- ・子育て・教育の環境が充実
⇒ 女性の負担大、結婚・子育てが当たり前という固定的な価値観も
- ・人材力が高い
⇒ 安定志向が強い、教育力高い反面で県外進学者が帰ってこない
- ・産業・雇用基盤が安定
⇒ 若者・女性に魅力ある仕事が不足、都市部に比して賃金低い

＜環境変化＞

- ・人口減少 2040年に県内人口64.7万人、65歳以上人口がピークに
- ・長寿命化 「人生100年時代」の到来。高齢者も健康・元気に
- ・大交流化 新幹線、高速道等の高速交通網整備、立地条件が向上
- ・技術革新 AI、IoT、ロボット、自動走行、5G等の未来技術が実用化

＜世界の潮流＞

- ・グローバル経済（特に新興国）の発展
- ・世界人口の増加と食料需要増
- ・エネルギー需要増と地球温暖化の進行

＜福井県の望ましい姿＞

- ・ふくいのがさが生かされ、文化力がさらに向上した地域
- ・多様性が尊重され、挑戦が後押しされる地域
- ・クリエイティブで魅力ある産業が生まれる地域

＜目指す将来像の考え方＞

- ✓ 土台があるからチャレンジできる
- ✓ 誰もがチャレンジ、ふくいをもっとおもしろく！
- ✓ 故郷に自信と誇りを持つことからスタート
- ✓ 「次世代ファースト」を合言葉に

＜基本理念＞ 「安心のふくい」を未来につなぎ、もっと挑戦！ もっとおもしろく！

長い歴史の中で先人たちが培ってきた「安心と信頼」のふくいを、みんなで守り、次世代に引き継ぐ。さらに、その安定した社会基盤をもとに、誰もが夢や希望をもって自分らしくチャレンジでき、相互に応援し合う、もっとワクワク・ドキドキする「おもしろい！」ふくいを目指す。

＜目指す姿＞



SDGs（誰一人取り残さない。持続可能で多様性と包摂性のある社会）の理念に沿いながら、3つの姿を目指す ※SDGs：2015年に国連で採択された、持続可能な世界を実現するための開発目標

自信と誇りのふくい

「ふくいらしさ」を大切に。
県民が誇りをもって
暮らすことにより、
さらに多くの人を呼び込むふくい

「ふくいらしさ」を伸ばし、
外に開いて人を呼び込む。

誰もが主役のふくい

すべての人が輝き、互いに
支え合い、幸せを実感しながら、
将来にわたり
安心して暮らせるふくい

多様な個性を大事にし、
みんなが自分らしく輝く。

飛躍するふくい

交通体系の進展や
技術革新を活かして、
産業の新たな可能性を拓く。
創造的で活力があるふくい

変化をチャンスに、
しごととくらしをクリエイト。

＜実現戦略＞

『ボーダレス時代の ふくい文化力』戦略

- “内と外”の力で文化力伸長
- 暮らしのランドスケープデザイン推進

・ふるさと教育と域外との交流、“内と外”の両面から「ふくいらしさ」を県民自ら再発見。ボーダレス社会におけるふくいのアイデンティティを次世代に継承

・工芸、祭り、年中行事などの生活文化や食文化、街並み、農山漁村・農林水産業、里山里海湖などの景観・環境を磨きながら20年先へとつなぐ「暮らしのランドスケープデザイン」を推進

・人口減少の中、県民のアクションと未来技術、関係人口の知見を融合し、ふくいを形づくる「新時代の文化力」を伸長。外に開いて魅力を高め、移住・定住の好循環を創出

『人生100年時代の ライフデザイン』戦略

- ふくい発「健康文化」の創出
- 全員参加の共生社会形成

・生涯生きがいを持って社会を支える新たな高齢者観を提唱、100歳まで生きる力を自ら培う「健康文化」を創出

・技術革新、価値観の変化に対応し、常に新たな知見を学び、セルフブランド（自己の知識や技能）を磨き続ける「生涯学び」のふくいを推進

・マルチワークや地域貢献活動に積極的に取り組む複線型・キャリアアップ型の人生設計を描き、「多役多業」で活躍する人材を輩出

・外国人はじめ多様な人材と交流・協働し、異なる価値観を認め合う寛容性の高い「共生社会」づくりを推進

『交流新時代の 産業創造』戦略

- 「エンタメふくい」の創造
- 価値創造産業への進化

・高速交通網早期完成による「日本海交流軸」の形成。バーチャルとリアル両面からふくいライフを世界へ発信・交流

・観光・まちづくりとフェス・体験などコンテンツを磨き上げて「エンタメふくい」創造。暮らし体験と心の交流を重視した“ポスト観光”の「交流産業化」を推進

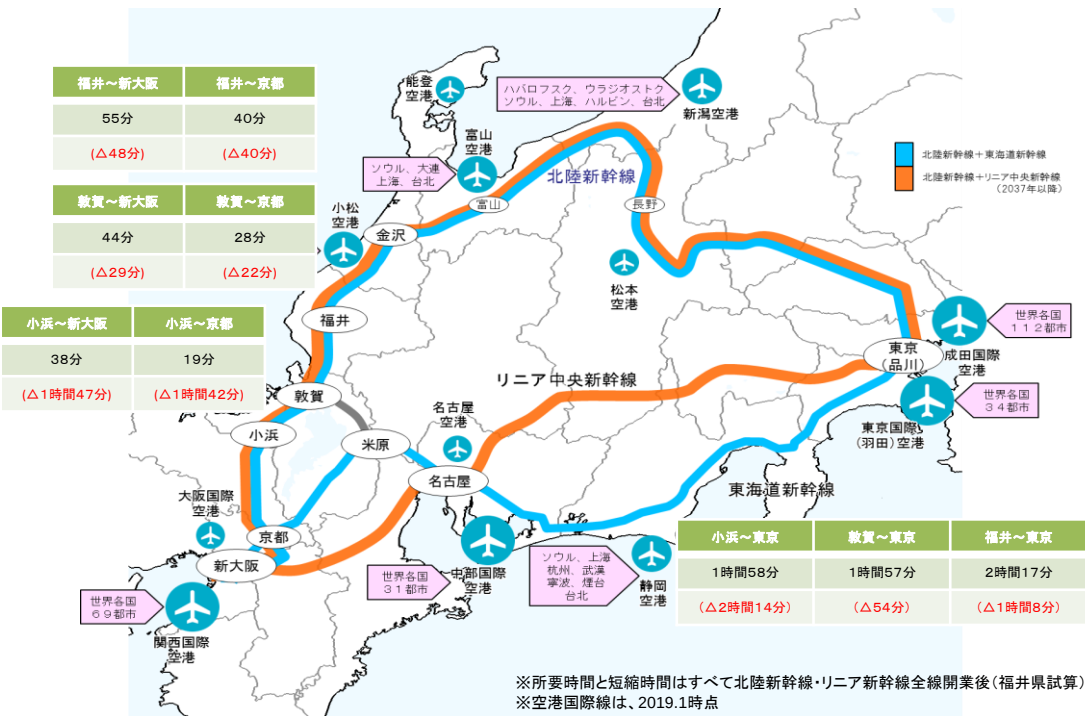
・AI・ロボット等の未来技術を開発・活用できる技術者、クリエイティブ人材を育成・輩出し、ベンチャー企業が集積する「未来技術人材育成エリア」を形成

・温暖化、食料、エネルギーなど国際社会の課題や成長市場を先取りし、新技術と融合して価値を生み出す「循環型経済」へ転換

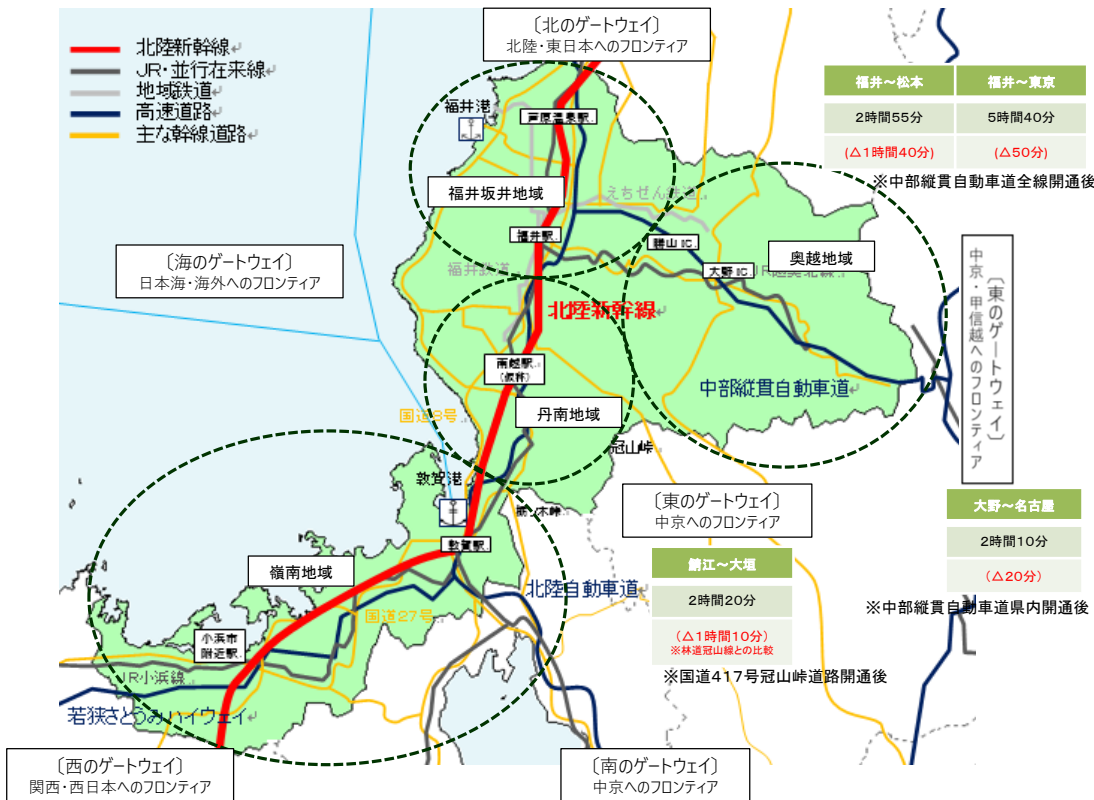
「福井県長期ビジョン」中間とりまとめ(案) 第1部 将来構想

< 2040年の高速交通インフラ >

○北陸新幹線・リニア新幹線の全線開業により、東海道新幹線とともに3大都市圏と北陸を周遊する大環状広域新幹線ルートを形成



○北陸新幹線が全線開業し、中部縦貫自動車道・若狭さとうみハイウェイとともに、東西南北に開く新たなゲートウェイが完成



< 2040年の地域別将来像(素案) >

福井坂井地域 ※福井市、あわら市、坂井市、永平寺町

〔特長と変化〕

- あわら温泉や永平寺など集客力の高い観光地が多く、観光客入込数は県全体の約4割を占める。坂井平野ではスマート農業の実証や砂丘地・丘陵地での園芸農業が進み、県立大学、農業試験場など人材育成や研究開発機能も集積している。
- 福井駅・芦原温泉駅の2つの新幹線駅が開業し、リニア開業時には福井-東京が2時間あまりで結ばれる。中部縦貫自動車道などの高規格道路や鉄道、福井港など交通の結節点になる。

〔将来イメージ〕

- 県都デザイン戦略に基づく歴史を活かした県都のまちづくりが進捗。永平寺、一乗谷朝倉氏遺跡や三国湊、丸岡城などの歴史遺産、東尋坊、あわら温泉など、福井を代表する観光コンテンツが集積する歴史と自然が調和したにぎわいエリア
- 繊維や化学、機械などの企業、産業支援機関、大学などのオープンイノベーションにより、革新技术・製品を生む未来産業創造エリア
- 県立大学と園芸カレッジ等による人材育成と、スマート農業や園芸との複合経営、食のブランド化による食と農のプラットフォームエリア
- 地域鉄道に加え、自動運転やMaaS、オンデマンド乗合交通など新たな移動手段が実現する先端交通エリア

奥越地域 ※大野市、勝山市

〔特長と変化〕

- 白山国立公園や奥越高原県立自然公園に指定されている自然豊かな地域であり、アウトドア型の観光施設が立地しているほか、恐竜博物館、平泉寺や越前大野城などの歴史・文化遺産も高い評価を得ている。
- 中部縦貫自動車道の開通により大野-名古屋は約2時間となり、北陸と中京・東海の経済・観光圏が一体化、奥越地域が本県の東の玄関口になる。

〔将来イメージ〕

- 日本一の星空にも選ばれた六呂師高原や刈込池の雄大な自然と野外活動、天然記念物に指定された恐竜博物館の実物化石や発掘現場など、ほんものの大自然を体験するエリア
- 中部縦貫自動車道により、福井港と名古屋港など福井と中京を結ぶ東西の人流・物流軸の拠点として、産業団地や道の駅を中心に新たに人や企業が集まり交流する新産業集積エリア
- 中世宗教都市の歴史を感じる白山平泉寺、越前大野城やその城下町など、奥越前の歴史遺産ブランドエリア
- 森林の保全や多様な活用、豊かな自然を活かした農林水産業と6次産業化など、持続可能な里地里山ビジネスエリア

丹南地域 ※鯖江市、越前市、池田町、南越前町、越前町

〔特長と変化〕

- 日本一の眼鏡産業のほか、越前和紙や越前焼など5つの伝統工芸産地が集積するエリアであり、近年はIT企業のサテライトオフィスの設置や、先端企業の製造拠点拡大も進んでいる。
- 丹南地域の中心に新たに設置される南越（仮称）駅は、北陸自動車道や国道8号との近接性を活かし、地域交通の拠点となる。また、冠山峠道路の開通により新たなルートが生まれ、岐阜県との交流が年間を通じて拡大する。

〔将来イメージ〕

- 伝統工芸や眼鏡・繊維産業など長い歴史を有する地場産業と電子・化学等のハイテク製造企業の両方が集積し、伝統と革新が融合する最先端のものづくりエリア
- 高い技術を有する地場産業や先端技術産業、環境保全型農業などに魅力を感じて集まった移住者、女性、外国人など様々な人たちが共生しチャレンジするエリア
- 越前海岸における越前水仙などの景観、北国街道の今庄宿や鉄道遺産など、行き交う歴史や自然が魅力の街道新交流エリア
- 伝統的民家や農家民宿などに滞在し、伝統工芸・クラフト体験や農業など地域の営みを楽しむ新たな「しごととくらし」観光エリア

嶺南地域 ※敦賀市、小浜市、美浜町、高浜町、おおい町、若狭町

〔特長と変化〕

- 三方五湖や蘇洞門などの自然景観、御食国としての歴史ある食文化や千年以上前に創建された寺社仏閣、各地に受け継がれた伝統芸能などの歴史・文化があり、エネルギー産業の集積を活かした研究開発や人材育成も進められている。
- 新幹線大阪開業により小浜-京都は19分と立地条件が大きく変化するとともに、舞鶴若狭自動車道の4車線化や敦賀港の物流機能強化などの整備が進み、関西と嶺南が一つの生活・経済圏になる。

〔将来イメージ〕

- 京都・大阪との近接性、自然や歴史・文化・食の魅力、安心の子育て環境等を活かし、嶺南から関西に通勤し、クリエイティブに働きながら文化的・健康的に暮らせるライフスタイル先進地となるWAKASARIフレッシュエリア
- 駅周辺へのスマートタウン整備、試験研究炉を活用したイノベーション拠点形成により、人や企業が集まるエネルギー・コストエリア
- 新幹線や敦賀港のクルーズ船からの外国人が三方五湖や鯖街道、人道の港、漁家民宿などを楽しむインバウンドリゾートエリア

「福井県長期ビジョン」中間とりまとめ(案) 第2部 実行プラン

＜実行プラン 計画期間＞ 2020～2024年（5年間）

・目指す姿の実現に向け、最初の5年間で実行する最重点政策「**新時代スタートアッププロジェクト**」を打ち出すとともに、分野別に重点施策を設定・実行

＜新時代スタートアッププロジェクト＞

- ・新幹線県内開業等を迎えるこの5年間は、3つの将来像のうち、特に『**飛躍するふくい**』実現に向けた戦略を最重点化して実行
- ・新幹線開業等を機に、外に開いて人を呼び込み、「県民参加」と「市町協働」によって、“行政だけが担うプロジェクト”ではなく“**一人ひとりが参加し育てるプロジェクト**”に

【コンセプト】 **＼＼ とんがろう、ふくい ／／**
とんがってるからおもしろい
チャレンジするからおもしろい
やってみたいことにチャレンジ!
ワクワクドキドキのふくいをつくろう!!

（１）ふくいエンタメ計画

～ふくいの魅力を
とがらせよう～



ONE PARK FESTIVAL 2019

（２）次世代チャレンジ宣言

～チャレンジで
未来をつくろう～



県内企業の上場

（３）しあわせアクション運動

～一人ひとりが
プレイヤーになろう～



できるフェス

「**ふくいをもっとおもしろく**」を合言葉に。
**観光、文化、スポーツ等の尖った魅力で多くの人を呼び込み、
県民も来訪者も、誰もが楽しめる場所・機会を創出**

- ・音楽、芸術など「フェス」の通年開催
- ・県民がいつでも文化芸術を楽しむ場づくり
- ・大規模スポーツ大会の誘致、開催
- ・クラフトツーリズムの拡大 ・観光列車の運行
- ・外国人がふくい生活を楽しむ「微住」促進
- ・リゾートエリア形成、観光地の磨きあげ加速 など

「**果敢なチャレンジ**」でふくいの未来を創造。
「**次世代ファースト**」の観点から、**起業・創業、働き方改革等
により若者に魅力ある仕事を創り、尖った企業・人材を輩出**

- ・スタートアップ応援
- ・リーディングカンパニー創出
- ・事業創継促進
- ・ふくい型エコシステム構築
- ・県内進学、就業拡大
- ・ふくい創生人材育成
- ・リモートワーク、地方兼業など新しい働き方実現
- ・しあわせ働き方改革
- ・結婚、子育て充実 など

「**一人ひとりの小さなアクション**」がふくいを変える。
**それぞれが自分の立場でできることを考え、持ち寄る「県民
総参加」の社会を形成**

- ・ソーシャルベンチャー育成
- ・シビックテック推進
- ・将来構想ワークショップ
- ・関係人口拡大
- ・夢実現クラウドファンディング
- ・生涯充実しあわせシニア
- ・有償ボランティア促進 など

＜分野別の政策・施策＞

- 基本理念・目指す姿を実現するため、次の4分野+ 1に分けて具体的な政策を企画・実行
- ふくいの「**文化**」と「**デザイン**」の力を活かし、**政策の質を向上**

分野	政策	重点施策
学びを伸ばす (人材力) ふくいは人が宝。 地域を支え、未来を 創造する人材の育成	1 夢と希望を持ち、 ふくいを愛する子どもの育成	個性を引き出し、学びを楽しむ教育プロジェクト 少人数学級や習熟度別指導、ICTの活用等の推進 など
	2 ふくいの産業・社会を支える 人づくり	「ふくい創生人材」育成プロジェクト 魅力ある大学づくり、FAAによる大学連携強化 など
	3 多様な価値観を認め合う 「共生社会」の実現	みんなが主役「ワンチームふくい」プロジェクト 女性・若者・シニア応援、障がい者・外国人との共生 など
	4 希望が叶う 「結婚・出産・子育て」応援	2人っ子応援プロジェクト 2人っ子家庭への経済的支援、保育の受け皿強化 など
成長を創る (産業力) 力強い産業基盤の確立。 チャレンジできる 地域経済の構築	5 農林水産業の力で ふくいをブランドアップ	稼げる農林水産業創出プロジェクト スマート農林水産業、他産業とのプラットフォーム形成 など
	6 地域経済のイノベーション	お金・人・技術の地域内循環・拡大プロジェクト スタートアップ企業の発掘・育成、事業創継の推進 など
	7 Society5.0時代の 新産業創出	ものづくり産業の新市場挑戦プロジェクト 宇宙産業の拠点化、未来型エネルギー技術の開発 など
	8 拡大する世界市場を ふくいの成長へ	世界市場チャレンジプロジェクト ミッション型海外事務所の設置、インバウンドの拡大 など
楽しみを広げる (創造力) 多彩な魅力で交流拡大。 交通新時代の 活力の創出	9 100年に一度のまちづくり	新幹線ゲートウェイ開発プロジェクト 新幹線4駅周辺まちづくり、観光型MaaS構築 など
	10 北陸新幹線開業効果を 最大化	観光リゾートエリア形成プロジェクト 恐竜、東尋坊、丹南、三方五湖等のスケールアップ など
	11 人が人を呼ぶ、 移住・定住新戦略	関係人口拡大プロジェクト 県外学生の地域滞在拡大、リモートワーク推進 など
	12 文化・スポーツが ふくいの活力	文化・スポーツによる交流拡大プロジェクト 全国大会等の誘致、賑わい創出イベント拡大 など
安心を高める (地域力) 人生100年時代をリードする 「健康文化」の創造。 暮らしを守る安全・安心	13 人生100年時代の 健康ライフスタイル	ふくい発「健康文化」創造プロジェクト 血液一滴がん検診、健康リテラシープログラム開発 など
	14 いつでもどこでも 安心の医療・介護・福祉	次世代包括ケアシステム推進プロジェクト 東大との新たな共同研究、「回復型」フレイル予防 など
	15 ふるさとの暮らしと 風景の維持	持続可能な次世代コミュニティ創出プロジェクト ICT活用による地域課題解決、地域ビジネス創出 など
	16 防災先進県ふくいの実現	安心の防災基盤強化プロジェクト 大規模災害団員の拡大、県土強靱化の推進 など
ともに進める (総合力) 協働による県民主役の県政。 外に開き連携強化	17 「チームふくい」の行政運営	市町協働による行政サービス向上プロジェクト 県・市町チームによる課題解決、市町職員確保支援 など
	18 広域パートナーシップの強化	地方連携による基盤整備・交流拡大プロジェクト 広域連携による高速交通網の整備促進、観光誘客 など

「福井県長期ビジョン」中間とりまとめ（案） 第2部 実行プラン

	概 要	政 策	重点施策	施 策
学びを伸ばす（人材力）	✓ 人口減少・高齢化や長寿命化、AI等の技術革新など、社会情勢が大きく変化するなか、福井の未来を拓くには、地域を支え変化に挑戦する人づくりが最も重要 ✓ そのため、福井の高い教育力を土台に、一人ひとりがそれぞれのライフステージにおいて、自ら学び、新たな可能性に挑戦する、創造性豊かな人材を育成 ✓ また、多様な個性や価値観を認め合い、女性や若者、高齢者、障がい者、外国人など、一人ひとりが自分らしさを発揮できる「全員参加型」の共生社会を実現	1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 - 学力・体力全国トップクラスの高い基礎力をもとに、子ども自身の個性を「引き出す教育」、好奇心や探究心を持って学びを「楽しむ教育」を推進 - 自らの可能性に挑戦し、一人ひとりの個性が輝く福井の子どもを育成	個性を引き出し、学びを楽しむ教育プロジェクト - 少人数学級や習熟度別指導、ICTの活用等の推進 - ふるさと教育・キャリア教育の推進、スポーツ・文化芸術活動の充実 など	○個性や主体性を発揮し、自らの可能性に挑戦する人材の育成 ○一人ひとりの多様な存在や価値観を認め合い、協働して課題を解決する教育の充実 ○郷土を学ぶ教育の推進など、ふるさとを愛する子どもの育成 ○教員の働き方改革や放課後児童クラブ等の充実など、子どもの成長を社会全体で支える教育環境の整備 など
		2 ふくいの産業・社会を支える人づくり - 産学官が連携し、福井の産業や自然を生かした教育・研究を推進し若者に魅力的な学びの場を創出 - 人生100年時代のリカレント教育を充実し、生涯活躍し続けるイノベティブな人材を育成	「ふくい創生人材」育成プロジェクト - 魅力的な大学づくりや高校等との連携強化による県内大学進学への促進 - F A A（ふくいアカデミックアライアンス）による連携強化 など	○農や水産増養殖、古生物学の学術拠点など、新たな学部・学科の創設による若者に魅力的な大学づくり ○地域でのフィールドワークや共同研究など産学官連携による地域人材の輩出 ○人生100年時代を支えるリカレント教育の充実 など
		3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現 - 女性、若者、高齢者など、性別、年齢に関わらず誰もが様々なことに挑戦できる共生社会の実現 - 障がい者、外国人など多様な人材が活躍する「ダイバーシティ地域経営」の推進	みんなが主役「ワンチームふくい」プロジェクト 「共働き方改革」による新たなライフスタイルの実現、若者・シニアのチャレンジ応援 - 障がい者、外国人の就労や生活環境の整備 など	○家庭でも職場でもワークシェアを進め、男女が互いに尊重しあう「男女共生社会」の実現 ○若者同士のネットワークを拡大、面白い挑戦を「ちょい足し」応援 ○短時間就労の促進など高齢者の生涯活躍の場の拡大 ○障がい者の就労やスポーツ等の推進、外国人が住みやすい環境の整備 など
		4 希望が叶う「結婚・出産・子育て」応援 - 将来を担う子どもたちを産み育てる若い世代を社会全体で支える仕組みを拡充 「日本一の出会い・子育て応援社会」を構築	2人っ子応援プロジェクト - 子育て家庭への経済的支援を行う3人っ子政策を2人目からに拡大 - 保育人材の確保促進など保育の受け皿の強化 など	○「自然な出会い」の環境づくりなど新たな出会いのサポート ○妊娠・出産前後からの切れ目ない支援体制を構築するなど安心して出産・子育てできる環境の整備 ○子育て世帯の負担軽減やシニアによる子育て支援など子どもの健全な成長を社会全体で支える仕組みづくり など
成長を創る（産業力）	✓ 技術革新や産業構造の変化、グローバル化などに対応し、質の高い生活を支える力強い経済基盤を確立させる必要 ✓ そのため、農林水産業やものづくりなど福井の地場産業を、新技術やデザインの力を活用しながら革新し、若者が魅力を感じる持続可能な産業へと発展 ✓ また、航空・宇宙、ヘルスケアなど成長産業や拡大する世界市場への進出、新技術の活用による付加価値創造、新規創業など、県内企業の様々な挑戦を応援し、活気と好循環の地域経済へと飛躍	5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ - 福井の生活・文化を形作ってきた農林水産業を大切に守り、次世代に引き継いでいくとともに、その魅力を福井の発信に最大限活用 - 新技術の活用などにより、力強い成長産業にレベルアップ	稼げる農林水産業創出プロジェクト - スマート技術の活用による稼げる農林水産業の実現、カレッジ等での人材育成 - 食文化・産業（加工・観光等）と結びつけるプラットフォームの形成 など	○「いちほまれ」や「ふくいそば」など福井のおいしい食のトップブランド化 ○直売所や観光農園の整備など農山漁村の魅力の創出、新たな交流の拡大 ○県産材の需要と供給を拡大し、育てる林業から稼げる林業へ転換 ○養殖生産やスマート漁業の推進などふくいの海のフル活用 など
		6 地域経済のイノベーション - 地域内の経営資源が循環する「福井型エコシステム」の構築、デザインの活用等による地域経済のイノベーション創出 - 新技術の活用による生産性向上や人材確保、人を幸せにする働き方改革の推進など地域経済の持続的発展を応援	お金・人・技術の地域内循環・拡大プロジェクト - 有望ベンチャーへの投資などスタートアップ企業の発掘・育成 「後継ぎベンチャー」の支援など事業創継の推進 など	○デザインの力によるものづくり産地の魅力向上 ○AI、IoT等の新技術の活用による地域企業の生産性向上や外国人材の受入促進等による人材確保 ○和菓子店や酒蔵、伝統工芸など暮らしに根差した小さな企業の応援 ○幸せと生産性を両立する「しあわせ働き方改革」の実行 など
		7 Society5.0時代の新産業創出 - 高いものづくり技術を活かした成長産業への進出や新技術を活かした高付加価値産業への転換 - 企業誘致による新たな分野の企業創出	ものづくり産業の新市場挑戦プロジェクト - 生産・データ利活用の拡大、人材集積を通じ、衛星ビジネスの国内拠点を形成 - 未来型エネルギー技術や自然に優しい新素材の開発 など	○航空・宇宙、ヘルスケア産業など成長産業へのチャレンジ応援 ○AI・IoTなど技術革新を活かした新サービスの創出、高付加価値化 ○企業誘致による若者や女性にとって魅力ある企業の創出 ○原子力や再生可能エネルギーなどを活かした嶺南「エネルギー・ユースト」の形成 など
		8 拡大する世界市場をふくいの成長へ - 成長する地域や分野など世界市場の動向を見極め、県内企業の新たな海外展開に向けた支援を強化 「食」や伝統工芸など本物の魅力を海外に売り込むなど、世界市場の拡大を本県に取り込み経済成長につなげる	世界市場チャレンジプロジェクト - 県民・企業のニーズに即したミッション型海外事務所の設置 - 国・地域ごとのニーズに応じたプロモーションなどインバウンドの拡大 など	○環日本海諸国やアジアでのビジネス展開の強化、成長国への開拓促進など、企業支援の海外ネットワークの強化 ○福井の文化や食を活かした海外売り込み ○オリンピックや大阪・関西万博等を活かした発信 ○環日本海、アジア、欧米諸国等との交流促進、国際人材の育成 など 4

「福井県長期ビジョン」中間とりまとめ（案） 第2部 実行プラン

	概 要	政 策	重点施策	施 策
楽しみを広げる（創造力）	✓ 北陸新幹線の福井・敦賀開業とその後続く大阪までの全線開業は、100年に一度のチャンス ✓ 高速交通網の整備やまちづくりなど交流基盤の整備を進めるとともに、都市圏でのプロモーションや観光地の磨き上げなど福井・敦賀開業に向けた準備を全力で実行 ✓ また、「交流」や「関係」をきっかけとした移住・定住を促す仕組みづくり、文化・スポーツを仕掛けとした交流拡大など、楽しく面白い、新時代のまちづくりを推進	9 100年に一度のまちづくり - 北陸新幹線などの高速交通網の整備にあわせ、新幹線駅周辺のまちづくりや二次交通を整備 - 県内外との交流を拡大する県境フロンティア政策を推進	新幹線ゲートウェイ開発プロジェクト - 新たな 4 つの新幹線駅周辺のまちづくりを市町と協働し推進 - 観光型MaaSの構築 など	○北陸新幹線や中部縦貫自動車道など高速交通網の整備促進 ○地域鉄道等への支援など持続可能な地域交通ネットワークの構築 ○港・空港・道路など交流基盤の整備・活用の推進 ○関西との近接性を活かした「WAKASAリフレッシュエリア」の形成 など
		10 北陸新幹線開業効果を最大化 誘客プロモーションによるふくいブームの創出や観光地の磨き上げ、インバウンド誘客などを集中的に実行し、新幹線開業効果を最大化	観光リゾートエリア形成プロジェクト 恐竜博物館、東尋坊、丹南伝統工芸産地、三方五湖、若狭湾など観光地のスケールアップ など	○新たな観光コンテンツの造成や観光ルートの提案などワクワクする旅行環境の創造 ○一つ一つの観光資源のブランド価値向上や観光素材のデジタル情報化、S N S 等の発信拡大などによるふくいブームの創出 ○国・地域の特徴に応じた外国人目線のインバウンド誘客 ○DMOなど地域が一体となった観光推進体制の構築 など
		11 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略 - 支援体制を強化するなど「待ち」から「攻め」の移住政策に転換 - 交流人口の拡大や多様な福井との「関わり」から移住・定住につなげる新たな仕組みを構築	関係人口拡大プロジェクト - 県外学生等の長期滞在・地域フィールドワークの促進 - リモートワーク、ワーケーションなど新たな働き方による都市人材の呼び込み など	○県内企業と県外大学生や都市圏の地方転職希望者との接点の拡大などによるUターンへの促進 ○教育機関と産業界が一体となった学生の地元定着の促進 ○拠点の充実や市町協働など移住定住促進体制の強化 など
		12 文化・スポーツがふくいの活力 - 長い歴史・生活が培った文化力や芸術文化への関心の高まり、国体・障スポ等を通して高まったスポーツ熱をまちづくりや交流人口の拡大に活用 - デザイン・アートの充実やフェスの開催など若者に魅力あるイベントを拡充し、楽しみに溢れるまちづくりを推進	文化・スポーツによる交流拡大プロジェクト - 音楽フェスなど賑わいを創出するまちなかいイベントの開催 - 全国規模のスポーツ大会の誘致や参加型の世界大会の開催 など	○本県の誇る歴史・文化遺産などをネットワーク化し、歴史ミュージアムふくいを発信 ○多彩な楽しみを生み出すデザイン・アートの振興 ○サブカルチャー・ポップカルチャーの振興など、「若者・よそ者」が集まるまちづくりの推進 ○県内を拠点に活躍するスポーツチームの応援 など
安心を高める（地域力）	✓ 長寿命化時代に向け、生涯にわたり、健康に安心して暮らせる福井を未来へつなぐ必要 ✓ 暮らしの中で、世代に応じて健康づくりをし、高齢者観を変える「健康文化」を創造するとともに、医療・介護・福祉の融合を進めるなど、誰もが安心して暮らせる環境を整備 ✓ また、地域コミュニティの活力維持や地域防災・防犯対策、県土の強靱化、自然環境の保全・活用、安全最優先の原子力政策など、県民の安全安心を地域全体で確保	13 人生100年時代の健康ライフスタイル - 何歳になっても元気なうちは社会を“支える”役割を担うという新しい高齢者観を共有 - 人生100年を健康に過ごすための「ふくい型健幸サポートシステム」を構築し、福井発の「健康文化」を醸成	ふくい発「健康文化」創造プロジェクト - 血液一滴がん検診の導入、ハイシルバークの促進など「いきがい寿命」の延長 「ふくい型健康リテラシープログラム」の開発 など	○フレイル予防等の促進による疾病・要介護化の徹底防止など 100歳までの「健活力」の向上 ○通勤や買い物での歩く習慣づくり、健康的な食生活など、日常生活の中で健康に配慮した活動ができる環境整備 ○地域の健康づくりの担い手育成など住民サポートの強化 など
		14 いつでもどこでも安心の医療・介護・福祉 - 医療、介護、予防、生活支援がトータルで提供される「次世代包括ケアシステム」を展開 - 誰もが地域で安心して医療を受けられる環境を整備	次世代包括ケアシステム推進プロジェクト - 東大との新たな「ジェロントロジー4.0」共同研究や「回復型」フレイル予防の導入 - A C P（アドバンス・ケア・プランニング）の普及啓発 など	○先端技術を活用したスマート医療、ドクタープール制度、ドクターヘリの活用等による地域医療の充実・強化 ○介護分野での外国人の受け入れ促進など医療・介護・福祉人材の確保・育成 ○8050問題やダブルケアなど様々な課題に対応する包括的な福祉サービスの充実強化 など
		15 ふるさとの暮らしと風景の維持 - 人口減少・高齢化が進む中、新たな技術や有償ボランティアなどの新たな共助の仕組みを活用し、いつまでも安心して暮らすことができる地域を構築 - 豊かな自然環境を保全し、自然とともに生きる福井を継承	持続可能な次世代コミュニティ創出プロジェクト - ICTや 5 G など新技術の活用による地域の課題解決 - 新たな地域ビジネスの創出、有償ボランティアの仕組みづくり など	○歴史的まちなみや自然景観など美しい景観の保全形成 ○豊かな里山里海湖の保全と交流人口拡大への活用 ○再生可能エネルギーの利用拡大など地球温暖化対策の強化と循環型社会の構築 など
		16 防災先進県ふくいの実現 - 頻発・激甚化する自然災害に対し、県土強靱化の推進や地域防災力の向上により備えを万全 - 子どもや女性、高齢者などが犯罪等に巻き込まれない安心して暮らせる社会を実現	安心の防災基盤強化プロジェクト - 大規模災害団員の確保支援や企業との連携等による防災力強化 - 治水・土砂災害対策など県土強靱化の推進 など	○県と市町の連携強化や地域の自助・共助による防災力と新技術の力の融合による災害への対応力の向上 ○インフラ老朽化対策や建設産業の担い手確保 ○子ども、女性、高齢者など県民を守る犯罪・事故対策を強化 ○県民の安全最優先の原子力政策の実行 など
ともに進める（総合力）	✓ 将来像の実現に向け、県民・企業・団体・市町が力を合わせ、「チームふくい」一丸となり、県政を推進 ✓ 県境を越えた他の地方自治体との広域連携を強化し、基盤整備と人・モノ・情報の交流を促進	17 「チームふくい」の行政運営 - 徹底現場主義に基づき、県民主役の県政を実現 - 市町とのコミュニケーション強化や価値創造型の政策立案の推進	市町協働による行政サービス向上プロジェクト - 行政システムの共同化など県・市町共通の課題をチームにより課題解決 - 市町職員の確保支援、人事交流 など	○徹底現場主義やクレドに基づく、県民主役の県政の推進 ○政策デザインの考え方にに基づく政策立案と実行 ○A I 等の活用による仕事の進め方改革と人材確保・育成 ○歳入確保と歳出の合理化・重点化、健全財政運営 など
		18 広域パートナーシップの強化 - 地方間の連携強化による高速交通網等の整備促進 - 新たなネットワークづくりによる地方発の政策拡充	地方連携による基盤整備・交流拡大プロジェクト 関係自治体と一体となった高速交通網の整備促進と観光誘客 など	○広域防災訓練の実施や広域医療体制の整備推進 ○全国の自治体と連携した政策立案や国等への提言 など

学びを伸ばす（人材力）① ～福井は人が宝。地域を支え、未来を創造する人材の育成～

政策1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成



【分野別重点施策】

個性を引き出し、学びを楽しむ教育プロジェクト

ICT等の技術革新の急速な進展や、児童生徒数の減少による小規模校の増加に伴い、一人ひとりの能力や特性に応じた学習に移行していくことを見据えて、主体的・協働的な学びや、適性や興味関心に応じたスポーツ・文化芸術活動を通じ、個性を発揮し、福井の未来を担う子どもを育成します。

○子どもの個性を引き出すきめ細かな教育の推進

- ・学級編制基準の見直しによる少人数学級や習熟度別指導の充実、小学校への英語教科担任制の導入、タブレット等のICT機器を活用した授業改善や学習支援を推進
- ・普通科系高校における魅力ある学校づくりの推進、職業系高校における最新技術（AI・IoT等）を学ぶカリキュラムの充実や地域企業等との連携強化
- ・特別支援学校における農業実習の拡大および新たな就職先の開拓
- ・子どもと向き合う時間を確保するため、学校における働き方改革を推進 など

○ふるさとを愛する心と社会に貢献する志の育成

- ・ふるさと教育や地域の伝統文化を発表し、交流する「福井ふるさと教育フェスタ」の開催、放課後子どもクラブにおけるエネルギー環境教育や座禅など嶺南・嶺北を交流する体験活動の充実について検討
- ・様々な企業等から講師を招いたキャリア講座を開催し、全校に配信 など

○適性や興味関心に応じたスポーツ・文化芸術活動の充実

- ・国体での継続的な上位入賞に向けた「スポジョブふくい」による有望選手の確保やお家芸競技の育成のほか、市町教委等と共に運動部活動の在り方を検討
- ・吹奏楽推進校の拡大など文化部活動の充実、芸術教育への外部指導者派遣 など



タブレットを使用した学習



吹奏楽推進校での講習会

政策2 ふくいの産業・社会を支える人づくり



【分野別重点施策】

「ふくい創生人材」育成プロジェクト

人口減少社会が到来する中、魅力的な大学づくりによる県内高校生の県内進学促進や、産業界・市町との協働による学生と県内企業・地域との結びつき強化を図り、福井の未来を創生する人材を育成・輩出します。

○魅力的な大学づくりによる県内進学促進

- ・高校生の県内大学進学割合を現在の3分の1から2分の1に高めるため、県内の大学と高校等との連携を強化
- ・県内大学に、農や水産増養殖を学ぶ学科や古生物関係の学部など福井の特色を生かした新学部・学科を創設し、各大学の強みを磨き上げ
- ・都市部の大学と協定を締結し、学生が相互に行き来する国内留学制度を導入 など

○県内企業や地域と協働したPBL(Project-Based Learning)・共同研究の強化

- ・コーディネーターを配置し、若者ならではの斬新な発想や行動力を活かした商品開発、店舗改装などを通じ、中小企業等と学生をマッチング
- ・現場の社員と連携し、現実の企業課題を題材とするなど実践力を養う学習を促進 など

○OFAA（ふくいアカデミックアライアンス）による県内大学の連携強化

- ・複数の大学教員が分担するオムニバス講義の開講など、大学連携センターの講義内容を見直し、発展的に継続
- ・地元定着につながるリカレントプログラムを実施し、U・Iターン希望の社会人と県内大学との橋渡しや、プロジェクト受講者に対する地元企業への就職仲介、移住支援 など



Fスクエア（実践恐竜学）の講義風景



学生によるPBLの成果発表

学びを伸ばす（人材力）② ～福井は人が宝。地域を支え、未来を創造する人材の育成～

政策3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現



【分野別重点施策】

みんなが主役「ワンチームふくい」プロジェクト

女性や若者、高齢者、障がい者、外国人など、それぞれの個性や価値観が尊重されながら、「チームふくい」の一員として様々なことに挑戦し活躍できる、誰もが主役の共生社会を実現します。

○性別、年齢に関わらず誰もが挑戦できる社会の実現

- ・固定的な性別役割分担意識をなくし、ライフスタイルを転換する「共働き方改革」により、女性の負担軽減と多様な活躍が可能な「男女共生社会」を実現
- ・家族みんなで家事・育児を楽しむ「共家事(トモカジ)」の促進や短時間勤務やテレワークなど女性が働きやすく暮らしやすい職場・生活環境の創出
- ・「ふくい若者ミライ会議」の開催や地域の交流・活動拠点「ふくい若者ステーション」の設置によるネットワークの拡大などにより、若者の新たなチャレンジを応援
- ・多様な働き方の普及や地域での有償ボランティアへの参加など、シニアの社会貢献と自己実現を促進

○障がい者、外国人など多様な人材が活躍する社会の実現

- ・日常生活の中で、共生社会を身近に実感できるよう、障がい者へのサポート内容を表明する商業・医療施設の拡大やカーポートパーキングの設置を促進
- ・企業における短期の就労体験の実施などにより、障がい者の就労を支援
- ・外国人労働者の就業・生活環境の向上を目指す企業への支援を行うとともに、建設分野における生活支援や介護分野における現地での人材育成等を支援する仕組みを構築
- ・多言語翻訳機導入や支援員配置、全日制県立高校特別入試枠の設置など、外国人児童生徒の教育環境の充実とともに、外国人留学生に対する授業料減免や住環境支援を実施



共家事イベント



外国人児童への個別指導

政策4 希望が叶う「結婚・出産・子育て」応援



【分野別重点施策】

2人っ子応援プロジェクト

「子育て先進県ふくい」の推進力となっている「3人っ子応援プロジェクト」も15年目を迎え、福井をモデルとした子育て支援が全国に広がる中、さらに、一歩先を行く2人っ子家庭への経済的支援へと拡大させることにより、これまで以上に幅広い層の子育て家庭に対する応援を強化し、県民の「希望出生率1.80」の早期実現と20年後までの「人口置換水準2.07」到達をめざします。

○2人っ子家庭への支援

- ・第3子以降を対象に実施している病児保育や一時預かり利用料等の無償化について、支援対象を第2子まで拡大
- ・3歳未満児の第2子保育料について、経済的状況に応じ段階的な無償化を実施

○低年齢児の在宅育児を応援

- ・在宅での育児を行う家庭を応援する支援制度の創設

○保育の受け皿の強化

- ・潜在保育士の就職支援や高校生の保育就労体験など、保育人材センターにおいて保育人材の確保を促進



認定こども園での保育活動



保育人材センターでの相談

成長を創る（産業力）① ～力強い産業基盤の確立。チャレンジできる地域経済の構築～

政策5 農林水産業の力でふくいをブランドアップ



【分野別重点施策】

稼げる農林水産業創出プロジェクト

熟達者の技と先端技術の融合により、超省力・高品質生産を実現する稼げる農林水産業を目指すとともに、他産業とのプラットフォーム形成により、人を呼び込み、地域の活力創出に貢献する産業への発展を目指し、大規模な法人から小規模な農林漁家、農山漁村に暮らす女性や高齢者まで、すべての人々が活躍できる新時代を築きます。

○活力ある「新ふくい」の農林水産業の実現

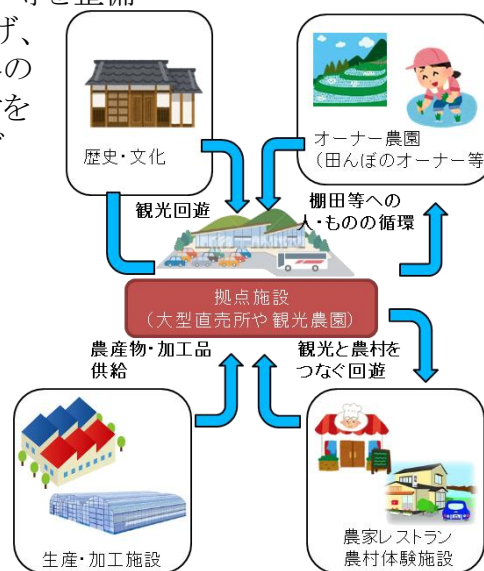
- 最新のスマート技術の活用により、若者に魅力のある稼げる農林水産業を確立
自動走行トラクタ、GPS田植機、自動環境制御の園芸ハウス、
航空レーザによる森林計測、養殖のICT自動給餌装置、定置網の魚群探知機 等
- 農・林・水産業のカレッジや「越前若狭 田んぼ道場」、県立大学新学科との連携により、
即戦力となる若者や地域を支える人を育成
- 「いちほまれ」、「越前がに」に加え、新しいプレミアムブランド(ふくいそば、若狭ぐじ、
越のルビー等)の確立により、「ふくいの食」の魅力を国内外に発信 など

○食文化・産業(加工・観光等)と結びつけるプラットフォームの形成

- 女性や高齢者の知恵を活かした魅力的な商品づくり
- 農林漁家の創意工夫による「知る・つくる・買う・癒す」の体験メニューを充実
- 観光農園や直売所、地魚料理を楽しむレストラン等を整備
- 観光名所や体験メニュー等のコンテンツをつなげ、
「ふるさと農の駅」(直売所)を中心に、地域内外の
人との交流を促進するにぎわいのある農山漁村を
創出 など



ふくい園芸カレッジ研修



「ふるさと農の駅」を中心とした周遊イメージ

政策6 地域経済のイノベーション



【分野別重点施策】

お金・人・技術の地域内循環・拡大プロジェクト

官民協働でのスタートアップ企業への支援、意欲ある後継人材のマッチングなど、成長が期待できる有望ベンチャーの創出や事業創継等を推進し、地域内でお金・人・技術等の経営資源が循環する「福井型エコシステム」を構築します。

○スタートアップ企業の発掘・有望ベンチャーの育成

- 先輩起業家やベンチャー創出支援機関との協働によるメンタリング、人脈形成、
投資等の集中的なサポートにより、短期間での成長を支援
- ふくい未来企業支援ファンドによる有望ベンチャーへの投資
- 投資型クラウドファンディング等の活用を支援し、創業や新商品開発の資金調達
を促進
- 民間のインキュベーション施設整備を支援し、県内外の多彩な人材が出会う
交流拠点を創出 など

○挑戦的な事業承継の推進

- 後継者不在の小規模事業者との後継人材を全国から公募し、マッチング
- 第三者への承継の際に必要な先代経営者からの技術承継等の支援
- 企業の後継者による新分野展開や県外・国外への事業拡大、新会社設立等の
ステップアップを目指す「後継ぎベンチャー」の支援 など



ベンチャー企業の投資家向けプレゼン



第三者への事業承継

成長を創る（産業力）② ～力強い産業基盤の確立。チャレンジできる地域経済の構築～

政策7 Society5.0時代の新産業創出



【分野別重点施策】

ものづくり産業の新市場挑戦プロジェクト

これまで培った繊維の加工技術(世界最薄の炭素繊維シート製造技術)や眼鏡の加工技術(チタン加工技術、金属3D成型技術)などを応用し、今後需要の増加が見込まれる航空・宇宙産業やヘルスケア産業などの分野で世界をリードする技術・製品開発を進め、県内産業の多様化や規模拡大を実現します。

○宇宙産業の拠点化

- ・超小型人工衛星の生産・データ利活用の拡大、県内への宇宙産業人材の集積などを通じ、衛星ビジネスの国内拠点を形成

○航空機産業への参入支援

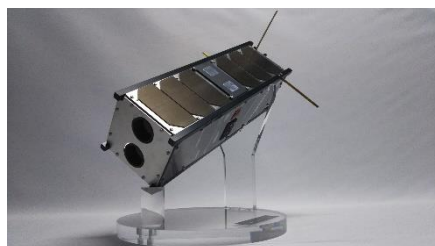
- ・工業技術センターの支援体制を強化し、県内企業の高いものづくり技術を活かした航空機産業への新規参入を促進
- ・航空機産業に携わる県内企業の認知度を向上させ、優秀な人材の県内流入を促進

○ヘルスケア産業の育成

- ・クオリティオブライフの向上につながる、アスリートのトレーニングから高齢者の筋力維持まで活用できるスポーツロボット、介護ロボットの開発

○持続可能な社会を支える分散電源化と新素材の開発

- ・産業用から個人用まで幅広く社会を支える、次世代電池など未来型エネルギー技術の開発
- ・持続可能な資源有効利用に向けた、自然界で分解する新素材やリサイクル素材の開発



超小型人工衛星



航空機エンジン、ボディの部材

政策8 拡大する世界市場をふくいの成長へ



【分野別重点施策】

世界市場チャレンジプロジェクト

県海外事務所(上海・バンコク)を拠点に、環日本海諸国やアジアでのビジネス展開をさらに強化するとともに、世界市場において、テーマとターゲット地域、具体的な目標を定め、各種セールス活動を展開する拠点(ミッション型海外事務所)を設置すること等により、県産品の輸出や外国人客の消費拡大など、世界市場の拡大を本県経済の成長につなげます。

○「ミッション型海外事務所」の設置

- ・販路開拓など県民・企業のニーズに即した海外の特定地域にミッション型海外事務所を設置

〔設置候補〕

フランスに県産品等の販路拡大を目的とした事務所を設置

アメリカにクルーズ船誘致を目的とした事務所を設置

など

○県産品の輸出拡大

- ・中国向け越境ECサイトに設置した「福井館」への参加促進、他国への設置拡大検討
- ・営業代行の設置や商談会の開催支援により福井の食や食文化を発信

など

○海外クルーズ客船の誘致

- ・クルーズ展示会出展などプロモーション活動の継続・強化により、欧州のラグジュアリー客船や中国発着の超大型客船など、多様なクルーズ客船を段階的に誘致
- ・クルーズターミナル機能の強化に必要なハード整備を検討

など

○インバウンドの拡大

- ・キャッシュレス、Wi-Fi、免税店や案内標識の多言語化など受け入れ環境の充実
- ・新規市場を含め国・地域ごとのニーズに応じたSNS等によるデジタルプロモーションや外国人向けの体験プログラムの開発を促進

など



海外での商談会



海外クルーズ客船へのおもてなし

楽しみを広げる（創造力）① ～多彩な魅力で交流拡大。交通新時代の活力の創出～

政策9 100年に一度のまちづくり



【分野別重点施策】

新幹線ゲートウェイ開発プロジェクト

北陸新幹線福井・敦賀開業とその後の大阪までの全線開業は100年に一度のチャンス。福井・敦賀開業にあたって県内に4つの駅(福井駅、芦原温泉駅、南越(仮称)駅、敦賀駅)ができる機会を活かし、市町とともに人・モノ・資金が集まり活力に溢れるまちをつくります。

○芦原温泉駅

- ・東尋坊、あわら温泉など県北部の主要観光地等への二次交通の充実
- ・西口駅前広場にホール、広場、観光案内・魅力体感施設を整備し、賑わいを創出
- ・西口立体駐車場を整備し、周辺地域からの駅利用者や駅前広場でのイベント参加者等の利便性を向上

など

○福井駅

- ・福井駅西側の再開発など県都デザイン戦略の実行により駅周辺の賑わいを創出
- ・一乗谷朝倉氏遺跡など主要観光地等への二次交通の充実
- ・県内全域を対象とする観光案内所、レンタサイクル、カフェ・展示・交流スペース等からなる東口拡張施設を整備し「誰もが憩えるおもてなしの空間」を創出

など

○南越(仮称)駅

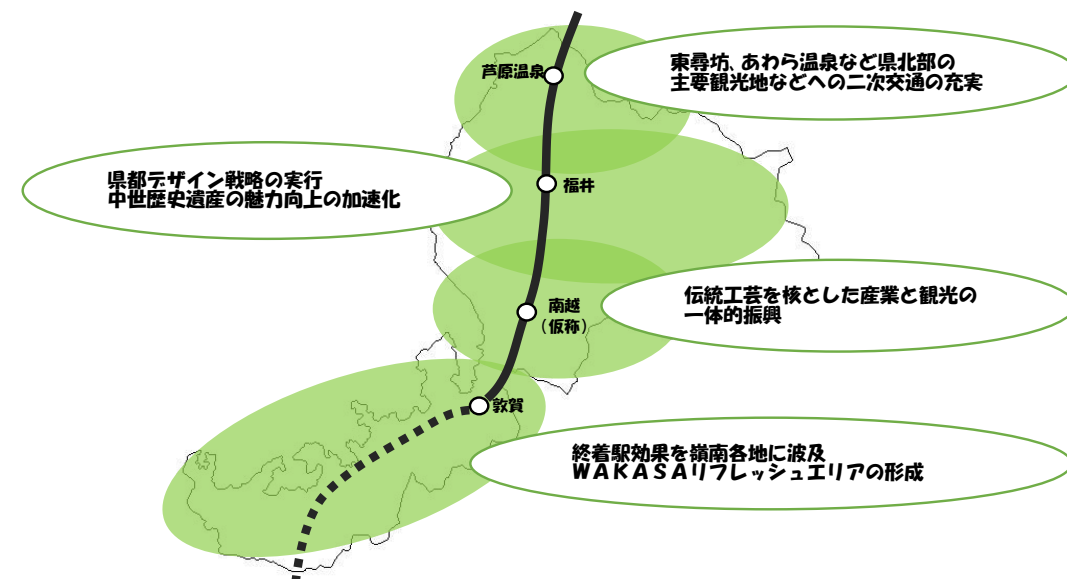
- ・伝統工芸を核とした産業と観光の一体的振興、観光地・周辺市町との交通ネットワークを整備
- ・北陸自動車道武生インターチェンジや国道8号に近接した立地特性を活かし、広域的な交通拠点、交流起点となるよう、「道の駅」や多目的広場、アクセス道路などを整備

など

○敦賀駅

- ・JR小浜線と主要観光地を結ぶバスの運行などにより、北陸新幹線の終着駅効果を嶺南各地に波及
- ・関西至近の地の利を活かし、週末居住や微住を楽しむ「WAKASAリフレッシュエリア」を形成
- ・駅西地区に知育・啓発機能をはじめ、宿泊、飲食・物販、広場、子育て支援などの機能を導入した施設を官民連携により整備
- ・新幹線駅前広場に加え、緑化空間など快適な空間を整備

など



○県内公共交通機関の利便性向上

- ・新幹線開業に向け、地域の鉄道ダイヤを充実させるとともに、路線バスに加え、コミュニティバスやタクシーを活用し、交通網を充実
- ・JR北陸本線は地域に密着した県民鉄道へと一新し、生活や交流の基点としてサービスを提供
- ・公共交通機関のダイヤやルート等をオープンデータ化し、県外からも経路を検索できる環境を整備
- ・ICカードやQRコードなどによるキャッシュレス化を推進

など

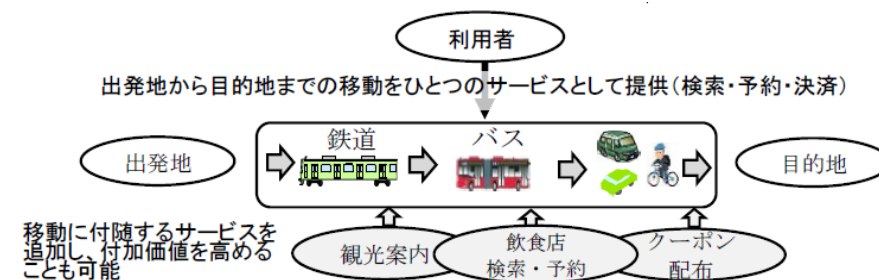
○MaaSによる主要交通拠点と観光地のネットワーク化

- ・県外からの観光客に対して、鉄道やバスなど観光地までのルート検索、予約・決済のほか、観光施設、宿泊施設など地域と連携したサービスを一体的に提供する観光型MaaS※を構築

など

※MaaS(Mobility as a Service)

一人ひとりの移動ニーズに応じて、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせ、検索・予約・決済等を一括で行うことを可能とするサービス



出典：国土交通省資料

楽しみを広げる（創造力）② ～多彩な魅力で交流拡大。交通新時代の活力の創出～

政策１０ 北陸新幹線開業効果を最大化



【分野別重点施策】

観光リゾートエリア形成プロジェクト

国内外から多くの観光客を呼び込むため、恐竜、自然、食、伝統工芸など、本県の唯一無二の地域資源を磨き上げ、北陸新幹線の各駅を玄関口としたリゾートエリアを形成します。

○恐竜博物館、東尋坊、丹南伝統工芸産地、三方五湖、若狭湾など、人を惹きつける観光地をさらにスケールアップ

- ・恐竜博物館をオールシーズン体験可能な施設にフルモデルチェンジし、映像やライブショーなど体感型の機能を強化
- ・長尾山総合公園内や県内・市内の観光地・体験施設との周遊券を設定
- ・恐竜ホテルや恐竜列車など恐竜を素材とした宿泊施設・二次交通の充実等
- ・東尋坊周辺において、絶景を楽しむ仕掛けやアクティビティの導入、エグゼクティブ層向けのリゾートホテルや厳選食材が楽しめるオーベルジュを誘致するなど、宿泊・滞在を促進
- ・丹南伝統工芸産地において、体感型マーケットや伝統工芸士による解説など、本物の伝統工芸を体験できるメニューを整備
- ・三方五湖周辺において、サイクリングロードの整備やサイクルトレインの運行、民宿のおもてなし向上など、観光客の周遊・滞在を促進
- ・若狭湾沿岸において、海辺のアクティビティの導入、飲食・宿泊施設等の受入環境の整備を進め、海や港に親しむリゾート空間を形成 など



恐竜博物館



東尋坊商店街

政策１１ 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略



【分野別重点施策】

関係人口拡大プロジェクト

学生の地域滞在や社会人のリモートワークなど、外から人を呼び込むローカルプロジェクトを実行し、福井がおもしろいを合言葉に若者・よそ者が集まる「ローカルチャレンジ先進地」を実現します。

○学生等の地域滞在を促進

- ・県外の学生が地域に長期滞在し、住民と交流しながら創作活動を行う「河和田アートキャンプ」、「竹田Tキャンプ」の活動を拡大するとともに、嶺南地域などに新たな活動地域を開拓
- ・県外の大学と連携し、県内の地域や企業等へのフィールドワークを通じて、福井について理解を深める「福井研修プログラム」を開発 など

○「リモートワーク」、「ワーケーション」の実践

- ・都市部企業等と協定を締結して、県内のサテライトオフィス等において「リモートワーク」や「ワーケーション」を実践する仕組みを構築
- ・都市圏の「リモートワーカー」、「二地域居住」希望者を対象とした交流会を開催、希望者を開拓 など

○地方兼業・副業の推進

- ・市町や企業等と連携して「地方兼業・副業プロジェクト」を開発し、都市人材を地域活性化の担い手として県内に呼び込み
- ・全ての市町において、都市人材が微住しながら地域や県内企業において活躍 など



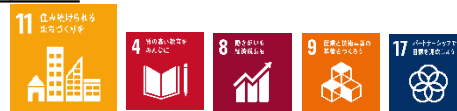
ワーケーションの体験風景



越廼サテライトオフィス

楽しみを広げる（創造力）③ ～多彩な魅力で交流拡大。交通新時代の活力の創出～

政策 1 2 文化・スポーツがふくいの活力



【分野別重点施策】

文化・スポーツによる交流人口拡大プロジェクト

まちなかにおける文化芸術を活かした賑わいの創出、スポーツコミッションの創設による全国大会・イベントの誘致、国内外から人を呼び込む世界大会の開催など、文化芸術やスポーツ、エンターテインメント等を活かした交流を拡大し、訪れる人も県民も楽しみ合える「エンタメ福井」を実現します。

○全国大会、有名選手等が参加する大会・イベントの誘致

- ・有名選手が参加する「アスリートナイトゲームズ」など、県内外から多くの観戦者を呼び込めるような魅力あるスポーツ大会・イベントを誘致 など

○参加型スポーツイベントの企画・開催

- ・「三方五湖一周サイクリング大会」など、国内外から多くの参加者を呼び込めるよう福井の自然を生かしたスポーツイベントの企画・開催 など

○県内スポーツチームの応援

- ・県内を拠点に活躍するスポーツチームが県民に愛されるチームとなるよう、地域活動への参加やチームのPRなどの広報活動を応援 など



アスリートナイトゲームズ
(2019.8.17)



サイクリング大会 (イメージ)

○デザインやアートに親しむ機会の充実

- ・駅の待合室などに誰もが自由に弾ける「まちかど幸福ピアノ」を設置するなど、まちなかに交流の場を作り、にぎわいを創出
- ・地域において、出張美術館や音楽イベント等を開催するほか、地域文化を発信する美術・伝統工芸の展示等を開催 など



まちかど幸福ピアノ (イメージ)



出張美術館 (イメージ)

○「若者・よそ者」が集まるまちづくり

- ・野外フェスティバルなど、にぎわいを創出するまちなかイベントの拡大
- ・学生が制作したアート作品を商店街の営業店舗などに展示する「まちかどヤングアートカレッジ」を開催
- ・同人誌販売会の開催など、サブカルチャーやポップカルチャーなどの若者文化を応援
- ・「国際音楽祭」のほか「アートフェスティバル」の開催などを支援し、国際交流を推進
- ・「インターナショナル小倉百人一首かるたフェスティバル」の開催など福井の文化を通した国際大会を拡大 など



ワンパークフェスティバル2019

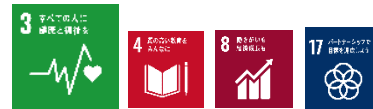


競技かるたの全国大会

安心を高める（地域力）①

～人生100年時代をリードする「健康文化」の創造、暮らしを守る安全・安心～

政策13 人生100年時代の健康ライフスタイル



【分野別重点施策】

ふくい発「健康文化」創造プロジェクト

長寿命化社会の福井において、県民が100歳まで幸せに生きることを目標とする新しい「健康文化」を創造するため、子どもから働く世代、高齢者まで全世代にわたる疾病予防や就労促進など社会の仕組みを人生100年時代型に転換していきます。

○80～90歳代のための疾病・介護予防体制

- ・一滴がん検診の導入や「回復型」・「オーラル(口腔)フレイル」を加えたフレイル予防の新展開などにより、高齢者の疾病・要介護化を防止 など

○社会の支え手として活躍できる「いきがい寿命」の延長

- ・高齢者に対する短時間勤務や人生経験を活かした就労ハイシルバーワークの促進など、活躍する機会を拡充 など

○健康リテラシー教育の実践

- ・100歳まで生きる力を学ぶための「ふくい型健康リテラシープログラム」を開発、全世代に対して保険者等を通じた健康リテラシー教育を実践 など

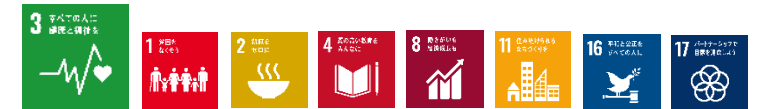


介護現場での高齢者の短時間勤務



がん出前講座

政策14 いつでもどこでも安心の医療・介護・福祉



【分野別重点施策】

次世代包括ケアシステム推進プロジェクト

本県が先進的に進めてきた医療と介護の融合による在宅ケア体制の整備をさらに進め、フレイル予防や生活支援など、医療や介護の必要がない高齢者へのアプローチも含めて、高齢者が状態に応じた適切な支援を受けながら住み慣れた地域で暮らすことのできる「次世代包括ケアシステム」を作り上げます。

○東大との「ジェロントロジー4.0」共同研究の展開

- ・東京大学と進めてきたジェロントロジー共同研究について、高齢者がより安心して暮らせる社会づくりに向け、第4期となる新たな研究を始動 など

○回復型フレイルの導入

- ・フレイル状態の高齢者を早期に発見し、重点的な保健指導を通じて健康な状態への回復を図る「回復型」フレイル予防を新たに導入
- ・フレイル予防活動の拡大をツールとして、公民館などの身近な「通いの場」に多くの高齢者が集う地域づくりを推進 など

○医療・介護に生活支援を融合

- ・有償ボランティアの仕組みやフレイルチェックの運営を担うフレイルサポーターを活用し、簡易な生活支援を地域で受けられる体制を整備
- ・在宅等での療養生活を安心して選択できるよう、在宅で受けられる医療・介護サービスをわかりやすく周知
- ・人生の最終段階で自身が望むケアについて、家族や専門職と前もって話し合う「ACP」(アドバンス・ケア・プランニング)の普及啓発を推進 など



「通いの場」でのフレイル予防活動



在宅での医療

安心を高める（地域力）②

～人生100年時代をリードする「健康文化」の創造、暮らしを守る安全・安心～

政策15 ふるさとの暮らしと風景の維持



【分野別重点施策】

持続可能な次世代コミュニティ創出プロジェクト

人口減少、高齢化集落の増加、集落機能の低下が懸念される中、少ない人員でも持続可能な地域運営を行うスマートタウンを実現するため、技術・知見や民間サービス等を組み合わせて活用するとともに、有償ボランティア等の新たな共助の仕組みを導入し、次世代コミュニティを創出します。

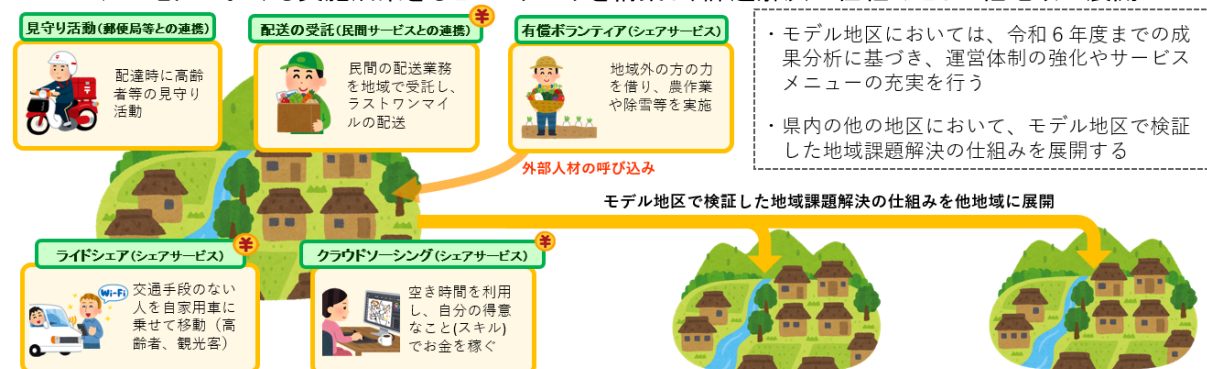
○新技術の活用による課題解決

- ICTやスマホを使ったシェアサービス等の活用により、ライドシェアによる高齢者や観光客の移動手段の確保、観光客と地域の案内役とのマッチングなど、既存の資源・スキルの共有による持続可能な集落運営と地域外の人材の呼び込み
- 人口減少などの地域課題解決に5Gを活用し、IT環境整備によるサテライト企業誘致やテレワークの拡大、除雪車の遠隔運行支援、地域イベントの高臨場感映像の体験等を検討

○地域の力を最大活用

- 地域に根差した企業のサービスと連携し、地域の見守り活動や乗り合いタクシー事業と併せた配食・配達の仕組みづくり
- 地域住民が民間サービスのラストワンマイル配送を請け負うなど、新たな地域ビジネスの創出
- 農作業や除雪等に、地域外の方の力を借りる有償ボランティアの仕組みを構築
- 概ね小学校区単位の地域において、空き家等を活用した住民が寄り添う拠点整備や地域活動を支援・促進

モデル地区における実施成果をもとにノウハウを構築し、課題解決の仕組みとして他地域に展開



政策16 防災先進県ふくいの実現



【分野別重点施策】

安心の防災基盤強化プロジェクト

様々な自然災害から県民の生命や財産を守るため、地域の住民、企業などが一体となって災害に備える体制を整えるとともに、情報通信技術の活用、治水対策やインフラ老朽化対策を進め、ソフト・ハード両面から災害に強い基盤を形成します。

○地域一体で進める防災力の強化

- 大規模災害時に情報収集、避難誘導・安否確認、避難所運営などを行う大規模災害団員の確保支援
- 地域と防災協定を締結した企業に対する防災資機材購入の支援
- 住民参加による地域防災マップの作成、マップを使用した防災訓練の支援
- 防災士の養成や防災意識の醸成に向けた防災教育の充実

○情報通信技術を活かした災害対応の充実

- 県災害情報システムを見直し、災害時の情報収集・伝達手段を多重化、多言語化
- IT機器を活用した避難所運営支援

○県土強靱化の推進

- 河川やダム、農地の適切な保安全管理による水田貯留機能の維持等の治水対策、砂防堰堤等の整備による土砂災害対策の推進
- 生活・社会基盤の耐震化や雪に強いみちづくりの推進
- 「予防保全」の考え方にに基づき、橋梁やトンネル、ダム、下水施設等のインフラを計画的に補修



防災訓練



河川拡幅工事（天王川）

ともに進める（総合力） ～協働による県民主役の県政。外に開き連携強化～

政策１７ 「チームふくい」の行政運営



【分野別重点施策】

市町協働による行政サービス向上プロジェクト

人口減少や地域ごとの課題に対応するため、県と市町が協働で課題解決に取り組み、新時代における行財政運営の効率化と住民サービスの向上を実現します。

○協働による課題解決

- 行政システムや公共施設管理など県・市町共通の課題に関し、県・市町協働の課題解決チームにより解決
[テーマ]
- 財務会計システムなどの行政システムの共同化、物品、役務の共同調達による運営コスト削減
- 県・市町共通の図書館カードとして利用できるようにするなど、マイナンバーカードの活用による住民の利便性向上
- 水道の広域連携、下水道等汚水処理の共同化や庁舎など公共施設管理の適正化
- RPA業務の市町への展開による業務負担の軽減・効率化 など

○市町職員の確保支援、県・市町の人事交流促進

- 市町において確保が難しくなっている土木、建築、保健師等の技術職員について、県の採用に上乘せし、確保・育成して市町に派遣
- 消防や災害対応の経験がある市町の消防・防災担当職員等と県の危機対策・防災部局との人事交流を促進
- 災害発生時に、土木職、保健師等の専門チームや必要な人員を派遣する体制を強化 など

○予算編成の協働

- 県・市町若手職員による施策立案チームにより、市町の提案を反映した施策を立案
- 知事と市町長との政策ディスカッションを予算編成前に実施し、事業の方向性を等しくすることにより事業効果を増大 など



市町首長との意見交換会



課題解決チームによる検討

政策１８ 広域パートナーシップの強化



【分野別重点施策】

地方連携による基盤整備・交流拡大プロジェクト

広域連携の強化により、北陸新幹線や中部縦貫自動車道、舞鶴若狭自動車道などの高速交通網や県境道路を着実に整備し、より近くなる沿線自治体との相互交流を活発化します。

○北陸新幹線、中部縦貫自動車道など高速交通網の整備促進

- 2022(令和4)年度末までの北陸新幹線福井・敦賀開業の確実な実現と、切れ目ない敦賀・新大阪間の工事着手による早期全線開業を、関西をはじめ沿線自治体と一体となって国に強く要請
- 北陸新幹線福井・敦賀開業と同時期に、中部縦貫自動車道大野油坂道路や国道417号冠山峠道路の開通が実現できるよう、沿線自治体と一体となって国に強く要請
- 舞鶴若狭自動車道の早期全線4車線化や国道8号石川県境部の整備などを促進するため、県境を越えた沿線自治体と一体となって国に強く要請 など

○「県境フロンティア」観光の推進

- 首都圏から、北陸・甲信越・東海を巡る「ぐるっと一周コース」を確立し、沿線自治体が一体となって誘客促進
- 中部縦貫自動車道の開通により、奥越地域と中京圏を結ぶ「越美線」沿線の観光地や「道の駅」をつなぐモデルコースの提案
- 冠山峠道路の整備により、池田町の森林体験や丹南地域のものづくりを活かした新たな観光ルートの構築
- ワールドマスターズゲームズ2021関西や大阪・関西万博を契機とした、関西のDMO等との連携によるインバウンド呼び込みの強化
- 兵庫や京都との連携による外国人向けの観光素材の磨き上げと北近畿の周遊ツアーの開発 など



関西、北陸の自治体や経済団体が交流



整備が進む北陸新幹線
(九頭竜川橋りょう)